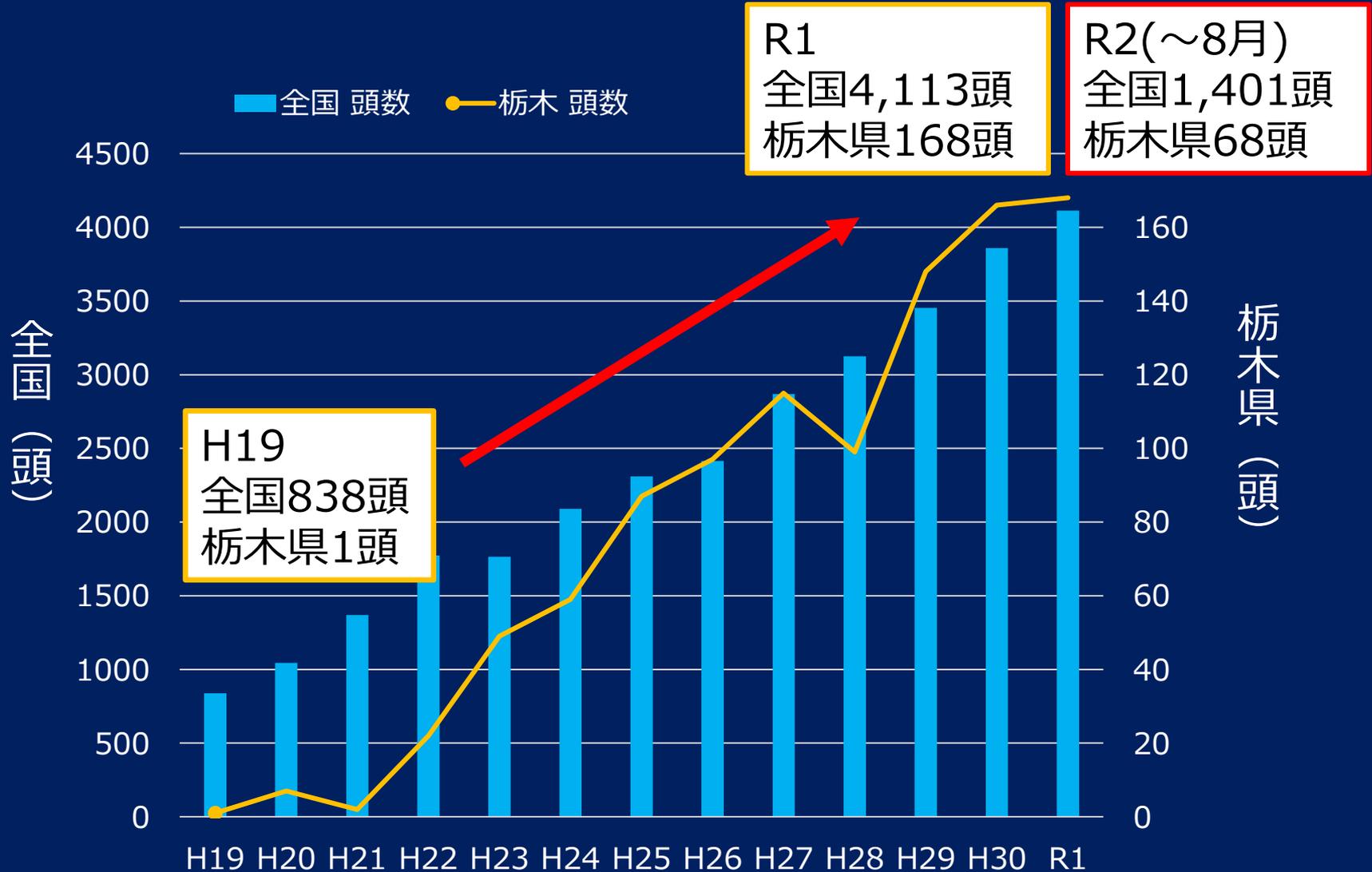


牛伝染性リンパ腫 取組状況について

県北家畜保健衛生所



牛伝染性リンパ腫(EBL)届出頭数



届出頭数は年々増加している！！

牛伝染性リンパ腫(EBL)対策

農場内で**広げない!**

- **分離飼育** 吸血昆虫によるウイルス伝播は**3-4mの間隔**で感染リスクが低減
- **母子分離** 陽性牛の子牛を陽転させない
- **その他の基本的な対策**
注射針(1頭1針)、直検手袋(1頭1枚)の確実な交換、出血を伴う処置の対応
(1頭毎に器具を洗浄消毒 & 陰性牛から陽性牛の順番で処置)

感染牛を**減らす!**

- 陽性牛の計画的とう汰

感染牛を**入れない!**

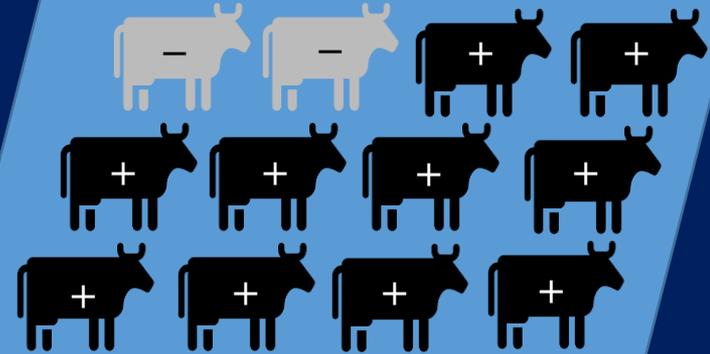
- 導入牛の検査

まずは…検査してみましよう！

1 抗体検査(ELISA法) 1頭640円※1

全頭検査(陽性と分かっている牛を除く)して
陽性牛を把握!

※1 畜産協会から半額補助あり



抗体検査

2 遺伝子検査(リアルタイムPCR法) 1頭2,480円※2

陽性牛の中には、周囲に
「感染させやすい牛(高リスク牛)」と
「感染させにくい牛(低リスク牛)」がいます

遺伝子検査でリスクを判別し、リスクに応じた対策を!

※2 畜産協会から半額、全農から1/4の補助あり



遺伝子検査

遺伝子検査で感染牛を伝播リスクで色分け！

農場内で**広げない!**

事例紹介

事例1 分離飼育

陰性牛と陽性牛だけでなくそれぞれの産子も分離飼育することで対策効果が出ています!
今年度陽転無し!!

陰性牛



3m以上

陽性牛



2週間
母子同居⇒分離

陰性牛
産子



3m以上

全頭早期
母子分離

陽性牛
産子

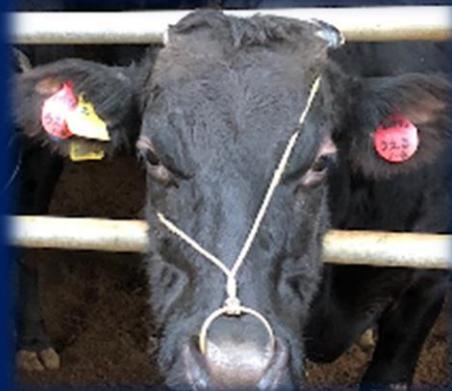


事例2 ペルタックの色で区別

一目で陽性牛のリスク区分がわかる!!

高リスク

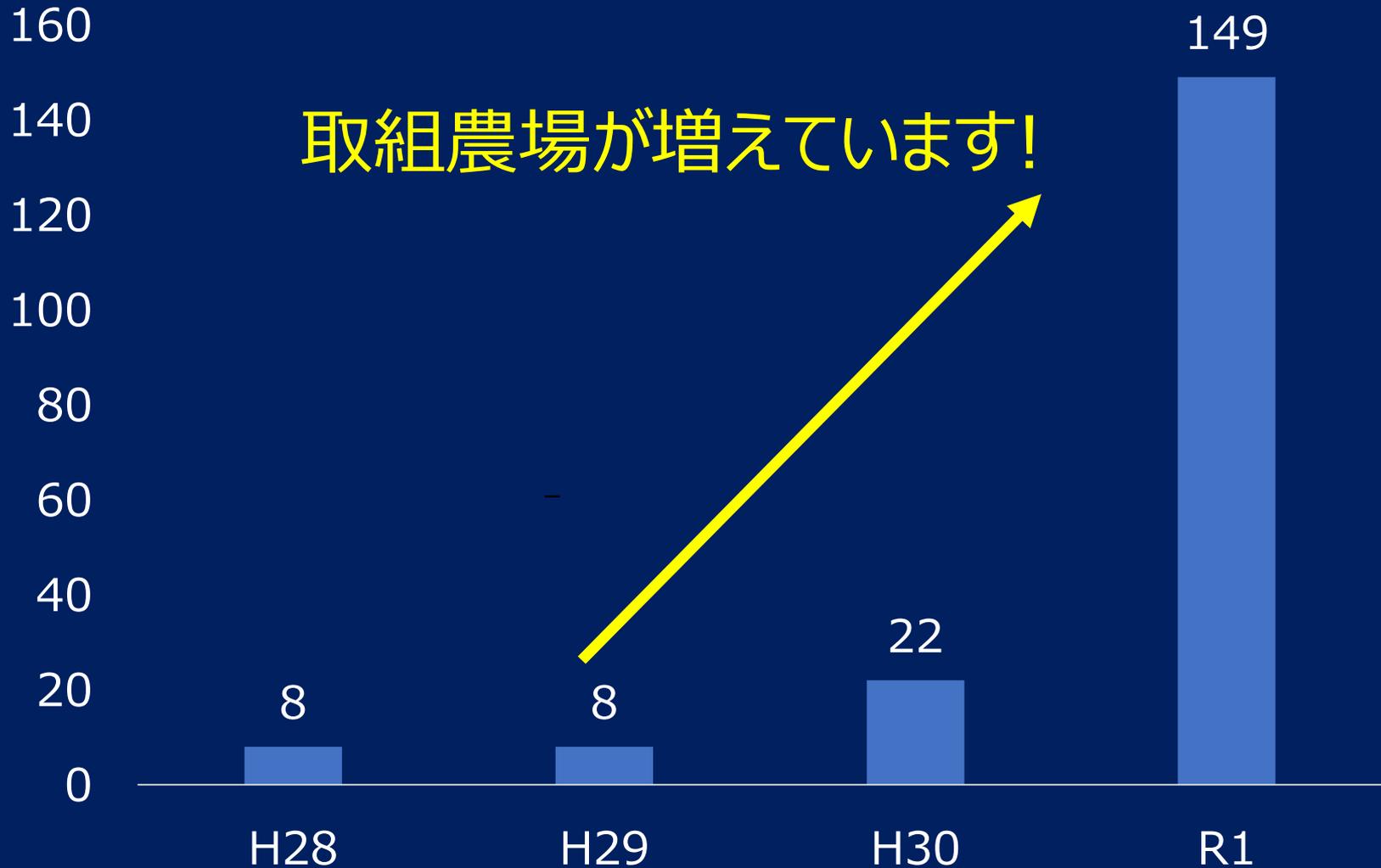
中リスク



低リスク

抗体陰性

牛伝染性リンパ腫(EBL) 清浄化取組農場数



牛伝染性リンパ腫(EBL) 自主検査に対する補助もあります！ ご相談ください。

県央家畜保健衛生所 宇都宮市平出工業団地6-8
TEL:028(689)1200 FAX:028(689)1279 携帯:090-7205-0895
(夜間・休日)

県南家畜保健衛生所 栃木市惣社町1439-20
TEL:0282(27)3611 FAX:0282(27)4144 携帯:090-7205-1402
(夜間・休日)

県北家畜保健衛生所 那須塩原市千本松800-3
TEL:0287(36)0314 FAX:0287(37)4825 携帯:090-7205-1826
(夜間・休日)